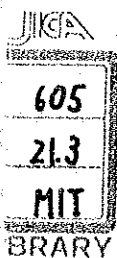


コスタ・リカ共和国  
中米域内産業技術育成計画協力事業  
巡回指導調査団報告書

平成6年5月

国際協力事業団





JICA LIBRARY



1122769(1)

2854/



コスタ・リカ共和国  
中米域内産業技術育成計画協力事業  
巡回指導調査団報告書

平成6年5月

国際協力事業団

国際協力事業団

28541

## 序 文

コスタ・リカ共和国政府は経済自立促進、経済基盤強化及び産業発展と民生の向上の両立を目指し、1985年から始まった第6次経済社会開発5ヶ年計画の中で、既存産業の効率と生産性の向上、労働力の技術向上、雇用機会の増大を図り、科学技術の振興を積極的に促進する事に力を注いでいる。

その一環としてコスタ・リカ共和国政府は、中米域内の産業技術者育成に資するために、教育省の傘下に「中米域内産業技術育成センター」を設立する事を計画し、我が国にプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

この要請を受けて我が国政府は、国際協力事業団（JICA）を通じて1990年3月に第1次事前調査団を派遣し、要請の背景、計画の妥当性、協力の規模等を調査し、その後協力内容の詳細を詰めるための長期調査員の派遣、さらに、1990年11月に第2次事前調査団の派遣を経て、1992年4月に実施協議調査団を派遣して討議議事録（Record of Discussions）の署名を行った。

本件プロジェクトは、同討議議事録に基づき、1992年9月1日から5年間にわたり技術協力を実施中である。

プロジェクト開始後、約1年7ヶ月を経過した現時点において、JICAはプロジェクトの進捗状況の確認及び今後のプロジェクト運営について日本側プロジェクト専門家チーム及びコスタ・リカ共和国側関係者と協議を行い、年次計画（Annual Work Plan）を策定し、かつ技術的な指導・助言を主な目的として、1994年4月10日から4月23日まで巡回指導調査団を派遣した。

本報告書は同調査団の調査結果をとりまとめたものである。ここに本調査団の派遣に関し、ご協力いただいた日本・コスタ・リカ両国の関係各位に対し深甚の謝意を表すると共に、あわせて今後のご支援をお願いする次第である。

1994年4月

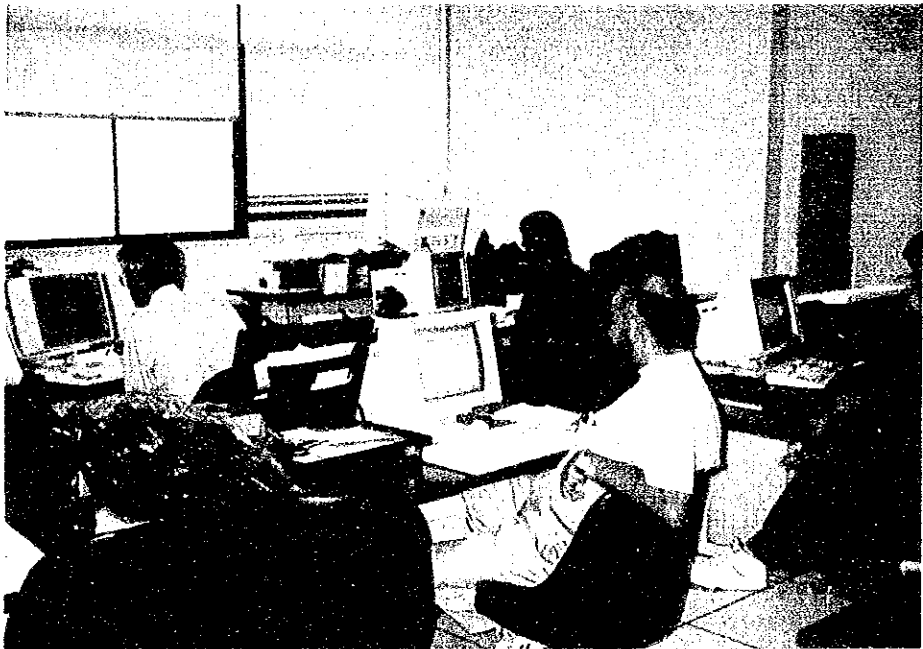
国際協力事業団  
鉦工業開発協力部  
部長 柿沼 宇佐







議事録署名・交換

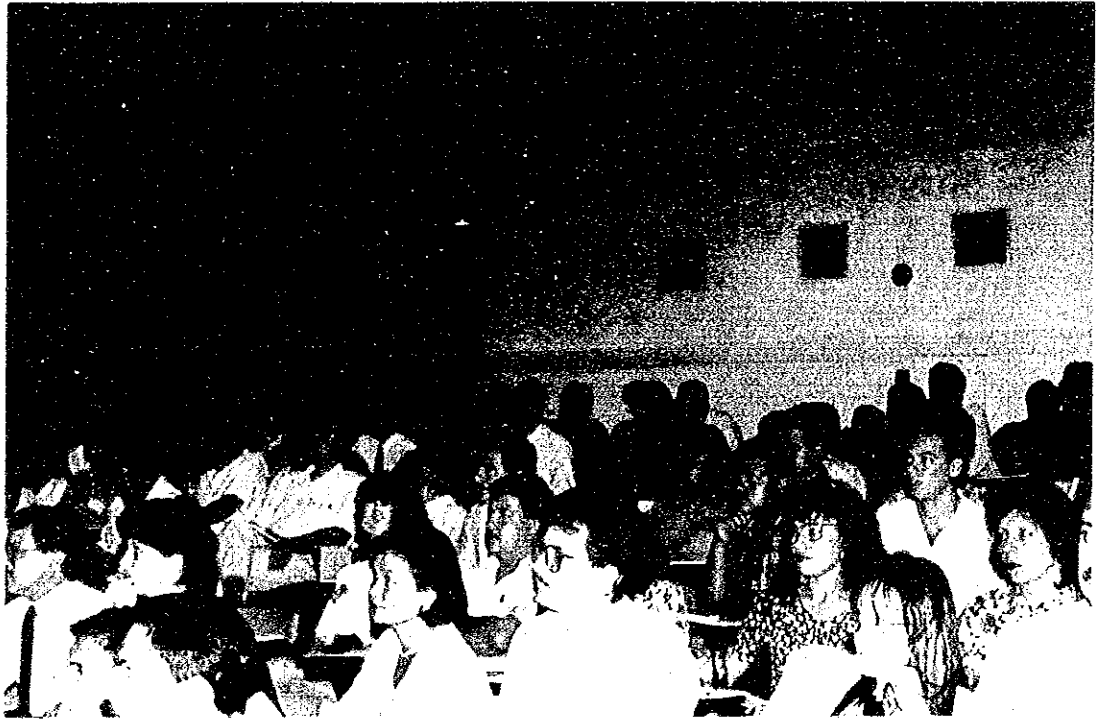


情報処理



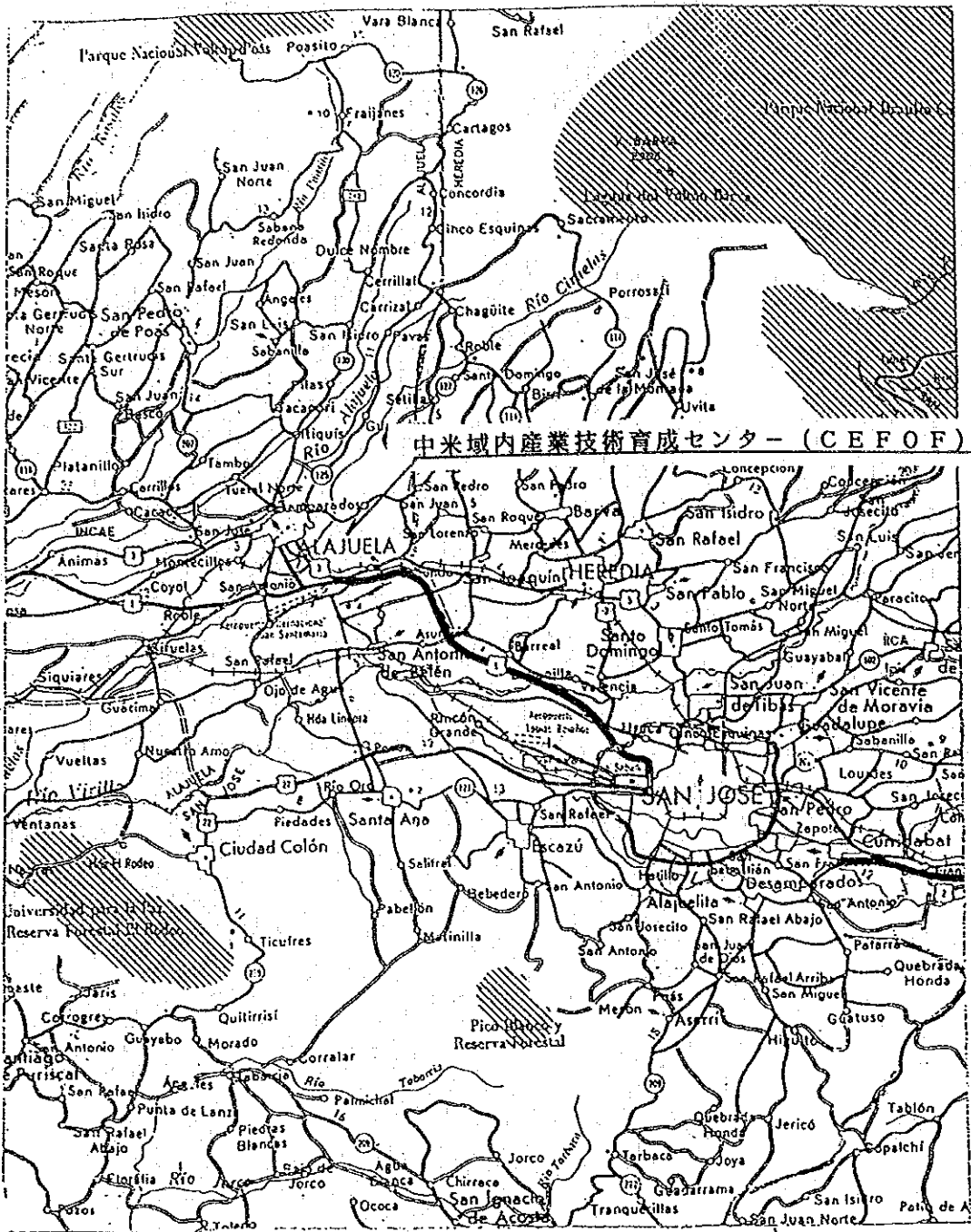


生産・品質管理

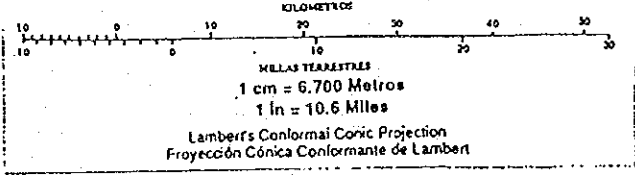


セミナー開催





ESCALA SCALE  
1:670.000



プロジェクト位置図



## 目 次

序 文  
写 真  
地 図

1. 調査結果の要約 .....	1
2. 巡回指導調査団派遣 .....	2
2-1 調査団派遣の経緯と目的 .....	2
2-2 調査団の構成 .....	2
2-3 調査日程 .....	3
2-4 主要面談者リスト .....	3
3. 暫定実施計画（T. S. I.）の進捗状況と次年度計画 .....	5
3-1 日本側 .....	5
(1) 専門家派遣 .....	5
(2) 研修員の受入れ .....	5
(3) 機材供与 .....	5
3-2 コスタ・リカ側 .....	6
(1) 建物施設等プロジェクト・サイト基盤整備状況 .....	6
(2) 機材措置・機材維持管理状況 .....	7
(3) 組織、カウンターパート及びスタッフの配置 .....	7
(4) ローカルコスト負担 .....	7
4. 技術協力計画（T. C. P.）の進捗状況と次年度計画 .....	8
4-1 1993年度実績 .....	8
4-2 1994年度計画 .....	10
5. プロジェクトの技術的な問題点と指導・助言 .....	11
5-1 生産管理・品質管理 .....	11
5-2 情報処理 .....	11

6. 調査団所見 .....	12
7. 先方側との主な協議事項 .....	14
附属資料	
ミニッツ .....	17



## 1. 調査結果の要約

1992年9月のプロジェクト協力開始後、現在までの1年7ヶ月間に、長期派遣専門家8人及び短期派遣専門家10人の計18人を派遣し、11人の研修員を受入れた。

専門家派遣及び研修員受入れについては現在までのところ、日本・コスタ・リカ双方の協議によって策定された年次実施計画に基づき順調に進展している。

また、機材供与に関しては現在までに図書館システム、教材開発用機器、視聴覚用機器等の機材を中心にC. I. F. で約95,000千円分を購送した。

一方、コスタ・リカ共和国（以下、コスタ・リカと略す）側の本プロジェクトに対する予算額は1992年16.6万コロン、1993年103.7万コロン、1994年118.7万コロン、及び本プロジェクトの配置職員数は1994年64名のうち61名の配置となっている。技術移転状況は、生産管理・品質管理及び情報処理の分野において、専門家指導による研修コースの教材開発を通じて、1994年1月から両分野とも研修コースが実施され、コース終了時に行ったアンケートでは高い評価が得られた。今後は、実施されたコースについて評価、分析を行い、さらに充実したものとするために今後実施予定の各コースにどう反映するかを検討する必要がある。

## 2. 巡回指導調査団派遣

### 2-1 調査団派遣の経緯と目的

「コスタ・リカ共和国中米域内産業技術育成計画」に対するプロジェクト方式技術協力要請は、1989年7月にコスタ・リカ政府から日本国政府に対して正式要請された。

この要請を受けて我が国政府は、国際協力事業団（JICA）を通じて1990年3月に第1次事前調査団を派遣し、要請の背景、計画の妥当性、協力の規模等を調査し、その後協力内容の詳細を詰めるための長期調査員の派遣、さらに、1990年11月に第2次事前調査団の派遣を経て、1992年4月に実施協議調査団を派遣して討議議事録（Record of Discussions）の署名を行った。

本件プロジェクトは、同討議議事録に基づき、1992年9月1日から5年間にわたる技術協力が開始され、1994年4月現在、長期、短期あわせて18人の専門家が派遣され技術協力中である。

プロジェクト開始後、約1年7ヶ月を経過した現時点において、JICAはプロジェクトの進捗状況の確認及び今後のプロジェクト運営についてコスタ・リカ側関係者と協議を行い、年次計画（Annual Work Plan）を策定し、かつ技術的な指導・助言をする事を主な目的として、1994年4月10日から4月23日まで巡回指導調査団を派遣した。

### 2-2 調査団の構成

担当分野	氏名	現職
団長	柿沼 宇佐	国際協力事業団 鈺工業開発協力部 部長
技術協力計画	水嶋 光一	外務省 経済協力局技術協力課 課長補佐
機材計画 (繊維・工業一般)	原 和朗	通商産業省 通商産業検査所 商品テスト部 管理課 総括係長
機材計画 (食品)	木下 進	農林通産省 横浜農林水産消費技術センター 技術総務部 農産課 農産課長
研修計画	水本 清司	(財)社会経済生産性本部 国際事業部専任部長
プロジェクト 運営管理	三好 省三	国際協力事業団 鈺工業開発協力部 鈺工業開発協力課

### 2-3 調査日程

派遣期間 1994年4月10日～4月23日(14日間)

日 程	調 査 内 容
4月10日(日)	移 動
4月11日(月)	移 動
4月12日(火)	在コスタ・リカ日本国大使館、教育省、経済企画省、経済省表敬
4月13日(水)	日本人専門家との協議、次期教育大臣表敬
4月14日(木)	コスタ・リカ側との協議
4月15日(金)	日本人専門家との協議、次期大統領表敬、コスタ・リカ側との協議
4月16日(土)	資料整理
4月17日(日)	資料整理
4月18日(月)	合同委員会開催、議事録作成
4月19日(火)	議事録署名、大使館報告
4月20日(水)	移 動
4月21日(木)	移 動 JICAアメリカ合衆国事務所打合せ
4月22日(金)	移 動
4月23日(土)	移 動

### 2-4 主要面談者リスト

(コスタ・リカ側)

①	次期大統領	Jose Maria Figueres
② 外務省	次期大臣 国際協力部長	Fernando Naranjo Villalobos Melvin Saenz D.
③ 貿易省	次期大臣	Jose Rossi Umana
④ 経済企画省	次期大臣 企画調整部部長代行 国際協力部企画渉外部	Leonardo Garnier Rimero Eddy Herreras Oscar Mendez
⑤ 教育省	大 臣 次期大臣 副 大 臣	Marvin Herrera Araya Eduardo Doryan Virgina Rojas
⑥ 公共事業・運輸省	次期大臣	Bernardo Acre Gutierrez
⑦ センター	センター長 教育部長 事務部長	Julio Sanches OIman Munoz Gerardo Antonio Soto

(日本側)

① 在コスタ・リカ日本国大使館	大 使	秋本健志郎
	一 等 書 記 官	望月 忠義
	二 等 書 記 官	石井 豊美
	職 員	鮎川 紀之
② 青年海外協力隊	業 務 調 整 員	高嶋 俊政
③ プロジェクト	チーフアドバイザー	高木 量
	業 務 調 整 員	松本 征吾
	品質・生産管理	佐藤 和親
	品質・生産管理	尾崎 洪彌
	品質・生産管理	林 雍人
	情 報 処 理	石井 信行
	情 報 処 理	鈴木 讓
	情 報 処 理	松村 亘
④ JICAアメリカ合衆国事務所	次 長	富本 幾文
	職 員	鈴木 愛二

### 3. 暫定実施計画 ( T . S . I . ) の進捗状況と次年度計画

#### 3-1 日本側

1992年9月1日に当プロジェクト方式技術協力事業が開始されてから本巡回指導調査団派遣にはほぼ1年7ヶ月が経過し、この間に派遣された専門家の派遣分野と人数については別途ミニッツに示される通りである。

各協力分野の活動状況及び1994年度年次計画は以下の通りである。

##### (1) 専門家派遣

1993年度は情報処理 ( UNIX関連上級応用技術 )、( パソコン上級応用技術 ) の2名、生産管理・品質管理 ( 生産管理実践手法 )、( コンピュータによる生産管理 ) の2名、検査機器取扱指導 ( 工業一般 )、( 繊維・アパレル工業 )、( 食品工業 ) の3名、機器据付・調整の2名の合計9名を派遣した。

1994年度はチーフアドバイザー、業務調整員、生産・品質管理 ( 工業一般 )、( 繊維・アパレル工業 )、( 食品工業 )、情報処理 ( データベース )、( システム分析・設計 )、( オペレーティングシステム ) の合計8名の長期専門家の延長及び交代についてと、生産管理・品質管理 ( 5 S )、( カイゼン )、情報処理 ( UNIX・ネットワーク )、( UNIX・ウィンドウズ )、( グラフィック・アプリケーション )、( グラフィック・アプリケーション )、検査機器取扱指導 ( 工業一般 )、( 繊維・アパレル工業 )、( 食品工業 ) の合計8名の短期専門家派遣の派遣計画をコスタ・リカ側に報告を行った。コスタ・リカ側は、派遣に支障しないよう所定の手続きを行う旨約束した。

##### (2) 研修員の受入れ

1993年度は11月に情報処理1名を3.5ヶ月間、11月に生産管理・品質管理2名を1ヶ月間、検査機器取扱指導 ( 繊維・工業一般 ) 1名を2.4ヶ月間、検査機器取扱指導 ( 食品・繊維工業 ) 1名を2.3ヶ月間の間受入れた。

1994年度は、検査機器2名、生産管理・品質管理1名、情報処理2名及び幹部研修の合計6名の研修員受入れ計画をコスタ・リカ側に報告を行った。コスタ・リカ側は、昨年度の日本における研修の効果を評価し、引き続き同レベルの内容で受入れを行ってほしい旨要望した。

##### (3) 機材供与

1993年度は、教材開発用機器、教材作成システムA・B、データバックアップ用機器、AV教材、教育用器機、記憶拡張用キット・メモリー、トレーニング・マニュアル及び検査機器備品を供与した。

1994年度は、コスタ・リカ側から技術移転に関連した下記に示すような機材の供与を要請し、日本側は、コスタ・リカ側の要望に全て応える事は困難であり、日本側の予算の範

団内でコスタ・リカ側の優先順位を考慮しつつ供与を検討する旨説明した。

1994年度要望機材リスト		数量	優先順位
No.	機 材 名		
①	パソコン・セット	16セット	A
②	現行システム補充部品（追加メモリー）	10セット	A
③	その他補充部品（コンバーター）	5セット	A
④	ソフトウェア（A）		A
1)	オラクル・CASE	2セット	
2)	ネットワーク	1セット	
3)	プレゼンテーション・ソフトウェア	1セット	
4)	初級プログラマーコース用補充ソフト	1セット	
5)	RS/6000ソフト	1セット	
⑤	現行システム補充部品（ハードディスク他）	2セット	B3
⑥	その他補充部品（イメージスキャナー他）	1式	B1
⑦	ソフトウェア		B2
1)	ネットワーク管理プログラム	1セット	
2)	ウインドウズ/NT	1セット	
⑧	プレゼンテーション用携帯用コンピュータ	1セット	A
⑨	生産・品質管理用補充機器		
1)	ノートブック型パソコン	3セット	A
2)	同時通訳用機器	1セット	A
3)	ソフトウェアJUSE-QCA	1セット	A
4)	カラープリンタ	1セット	B
5)	字幕装置	1セット	A
⑩			
1)	検査機器用備品	1セット	A
2)	検査実習室用パソコン	2セット	A

### 3-2 コスタ・リカ側

#### (1) 建物施設等プロジェクト・サイト基盤整備状況

建物施設等の基盤整備については、1993年3月中旬に内装設備及び外装工事を完了し、4月上旬に仮事務所から移転し、特に問題点がない事を確認した。

(2) 機材措置・機材維持管理状況

機材措置、機材維持管理の状況は大旨、良好であった。

(3) 組織、カウンターパート及びスタッフの配置

組織図と人員配置状況はミニッツに示される通りである。

(4) ローカルコスト負担

1993年度及び1994年度予算措置状況は、ミニッツに示される通りである。

## 4. 技術協力計画（T. C. P.）の進捗状況と次年度計画

調査結果の要約にも記載した通り、本プロジェクトは現在まで順調に推移してきている。現在までの進捗状況と次年度計画を協力分野毎に列記すれば以下の通りである。

### 4-1 1993年度実績

#### (1) 生産管理・品質管理

##### 1) 全社的品質管理（TQC）コース

コスタ・リカ側カウンターパートへの技術移転を通じて、教材開発が順調に行われた。教材作成の終了の後、カウンターパートは専門家の同席のもとに、1994年1月から2月にトップマネジメントを対象として2日間のTQCコースを実施した。これらのコースへは、合計52名が参加した。コース終了後に実施されたアンケートでは、参加者から高い評価が得られた。また、ミドルマネジメント対象のコースには60名の参加があり、同じように高い評価を得た。これらのコースの実施を通じて、コスタ・リカ側のカウンターパートが独力にてコース運営を行う事ができる事が専門によって確認された。

##### 2) 生産工程における原価低減

1993年9月から1994年3月にかけて、標準化及び維持管理に関する技術移転をパイロット企業において実施した。併せて、原価低減に関する講義をセンターにおいて適時実施した。カウンターパートは着実に技能を習得しており、1994年8月に予定されているコースへの準備を進めている。

##### 3) 監督者訓練コース

パイロット企業として選定されたCOMTEX S.Aにおいては、専門家とカウンターパートは生産性向上について同社の幹部、スタッフとの面談及び会合を通じて訓練ニーズの把握につとめた。同社における7ヶ月の体験からカウンターパートは、生産性向上においては人材上の諸要素が如何に重要な役割をなしているかを理解した。

#### (2) 情報処理

1993年のワークプランに従って技術移転及び教材開発が行われ、専門家の指導のもとに初級プログラマーコースを実施した。内容は「マルチメディア」（期間は5日間、参加者は10名）、「コンピュータ・メカニズム」（5日間、18名）、「LAN/ネットワーク技術」（10日間、40名）である。全てのコースにおいては、各自が端末機を用いて円滑に実施された。コース終了後に行ったアンケートでは、機材と共にコース内容に対する高い評価を得た。今後カウンターパートは、独力でコースを実施できるものと判断できる。



(3) デモンストレーションコース

OEFOF紹介とデモンストレーションを兼ねたコースを適時実施した。これらのコースは専門家とカウンターパートによって実施し、コスタ・リカの人々に対してCEFOFの活動を紹介するのに大いに貢献した。

コース名	期日	参加者数(名)
日本の経営管理	9月2日	130
日本式経営管理のコスタ・リカへの適用	10月20日	64
情報処理の将来	11月3日	51
マルチメディア	10月23日、24日、25日	6
	11月29日、30日、12月1日	9
	12月2日、3日	10
全社的品質管理(TQC)	12月6日、7日	15

(4) その他の活動

1993年度は、9名の短期専門家を派遣し、それぞれの分野で技術移転を行った。公開セミナー及び企業訪問をして生産性の向上について助言を行った。

(5) 試験室における技術移転

- 1) 検査機器の応用に関する需要分析を実施した。
- 2) 品質検査実施のための規則、手続き整備の準備を行った。
- 3) 食品検査所としての認可を得るための手続きを経済、工業、商業各省に対して行った。

(6) 任国外出張

- 1) コスタ・リカ政府の要請を受けて、専門家1名及びカウンターパート1名はニカラグアのマナグアを訪問し、日本の経営管理に関する講義を行った。これは、本プロジェクトの中米諸国の訓練ニーズを研究する事にも役立った。
- 2) 専門家がエルサルバドル及びグアテマラを訪問し、産業の技術水準を調査した。

(7) 開所式

CEFOFの開所式は1993年4月16日、カルデロン大統領、柳谷JICA総裁の出席のもとに新築されたCEFOFビルで行われた。式典には政府、産業界から約150名が出席し、盛大に行われた。

#### 4-2 1994年度計画

調査団とコスタ・リカ側は、1994年度技術協力計画を現在の進捗状況に鑑みて別表7-1、7-2の通り策定した。

##### (1) 生産管理・品質管理

- 1) 全社的品質管理(TQC)コース
- 2) 特設コース
  - a. 生産性
  - b. 品質管理(QC)技法
  - c. QCサークル
  - d. 5S
  - e. 提案制度
- 3) 監督者訓練コース
- 4) 工程における原価低減コース

##### (2) 情報処理

- 1) 初級プログラマーコース
- 2) 上級プログラマーコース
- 3) 短期アプリケーションコース

## 5. プロジェクトの技術的な問題点と指導・助言

### 5-1 生産管理・品質管理

専門家と生産管理・品質管理（実習室）を含むカウンターパート及び幹部との意思の疎通が十分に図られていないため、技術移転のスケジュール並びに内容に対して一部不満があった。専門家にはそれぞれの指導分野、指導項目の理論及び実地指導を含めた詳細スケジュールを早急に作成し、コスタ・リカ側と調整の上、技術移転を図るように指導・助言をした。また、進捗状況に併せ、国内支援先において視聴覚教材作成を行うため、必要な教材等の提出を依頼した。

### 5-2 情報処理

情報処理のパイロットコース（定員10名）を3回に分けて実施したが、10名の定員では効率が悪く、そのため、初級プログラマーコースでは20名で実施した。コースを受講した生徒の評価は非常に高かったが、コスタ・リカ側幹部の要望として今後企業向け、及び一般者向け等の内容にそったコースの希望があり、今後、短期アプリケーションコースと併用して検討するよう指導・助言した。

## 6. 調査団所見

### 6-1 普及広報活動

1993年9月以降、順次行ったセンター広報活動を含めたコース紹介のデモンストレーションコースの開催、パンフレット作成により、関係者への配布及びラ・ナシオン紙・日曜版・雑誌ルンボ等のマスコミを通じての広報活動により、本プロジェクトのコスタ・リカ国内での地名度が高まり、1994年1月からの本コースの受講生の予定以外の参加が見込まれた。今後も新たなコース開設に当たり、コース紹介を兼ねたセミナー等を積極的に行う事が望まれる。

### 6-2 周辺諸国への指導

コスタ・リカ側から、今後どの様に進めたら良いかとの問い合わせがあったが、調査団としては、まずR/Dに基づいた初期の目的達成が重要であり、基礎固めをすべきである旨述べておいた。今後も本件はコスタ・リカ側より提案される事が予想されるがプロジェクト方式技術協力期間中の「第3国研修」開始の可否等については、日本側としても事前に検討しておく必要があり、まずコスタ・リカ側の計画及び実績等を把握しその上で検討する。

### 6-3 検査用機器

機材を使用した各種試験機器は、その使用法を知る事も大切であるが、品質管理において「なぜ実体試験を行うか」がより重要なポイントである。そのため機器にも熟知し、各試験の規格、取扱説明書の理解はもちろん、細部に渡るノウハウもわかる専門家のリクルートが必要と考えられる。ただし、機材の操作も平行して指導しなければならないため、派遣に際しては民間企業及び検査協会に属した人材等の確保が望まれる。

### 6-4 政権交代

1994年2月の大統領選の結果、現政権である与党キリスト教社会連合等が僅差で野党国民解放党に勝利した。本調査期間中に次期大統領及び次期大臣からぜひ会いたいとの申し入れがあり、その中でコスタ・リカ側は、日本の協力で実施しているCEFOFのプロジェクトは非常に重要であり、会見したところ今後もさらに十分な活用を図り、国際競争力のある企業の育成の核にしたい旨表明した。そのため、現在あるINA（国立職業訓練学校）、CENPRO（コスタ・リカ輸出促進センター）、CINDE（経済開発計画機関）等とCEFOFを今後産業界の発展に寄与するよう検討したいとの意見が出された。

コスタ・リカ側としては前述の組織職員及び教員をCEFOFにおいて再教育してほしいとの要望であるが、日本側としてはまず、どういう組織でどんな点において問題があるかを十分に把握して対応する必要があると思われる。その中でコスタ・リカ側の要望を聴取し、本プロ

プロジェクトの協力内容と照らし合わせ協力できる範囲を双方にて検討・確認し、R/Dで定められた5年間の協力期間中にカウンターパートが実施できる範囲・内容ですすめるのが得策と思われる。

## 7. 先方側との主な協議事項

コスタ・リカ側との協議結果の主な点は、日本・コスタ・リカ双方によって署名された別途ミニッツに集約されているが、ここに先方との協議の概要を振り返って述べてみると下記の通りである。

### 7-1 カウンターパート及びスタッフの配置

調査団側は、カウンターパート及びスタッフの配置がR/Dの配置計画より遅れており、早期に決定するよう申し入れた。

これに対しコスタ・リカ側は、最大限努力して採用する旨表明した。

### 7-2 予算措置

調査団は、1993年度予算措置である公用車の購入が遅れており、早期に処理するよう申し入れた。

これに対し、コスタ・リカ側は早期に手続きする旨約束した。

### 7-3 供与機材

コスタ・リカ側は技術移転に関連し、日本側に機材の供与を要請した。

日本側は、コスタ・リカ側の要望にすべて応える事は、日本側の予算の範囲内では困難であるので、コスタ・リカ側の優先順位を考慮しつつ機材供与リストを検討する旨説明した。

コスタ・リカ側は、日本側にコスタ・リカ側の要請を十分考慮するよう希望した。

### 7-4 大臣の交代

コスタ・リカ側は、現在の教育大臣が交代した場合においても本プロジェクトに対する政府の支援はなんら変わりなく、新大臣がプロジェクトの実施に対し、責任を持って行う旨述べた。

### 7-5 短期専門家の派遣

コスタ・リカ側から、検査機器分野（食品及び工業一般）の短期専門家を早期に派遣してほしい旨申し入れた。調査団側は、その主旨を考慮しつつ時期及び期間を検討する事とした。

## 附 屬 資 料





THE MINUTES OF DISCUSSIONS  
BETWEEN THE JAPANESE TECHNICAL GUIDANCE TEAM  
AND THE AUTHORITIES CONCERNED  
OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF COSTA RICA  
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR THE TECHNICAL INSTRUCTOR AND PERSONNEL  
TRAINING CENTER FOR INDUSTRIAL DEVELOPMENT  
OF CENTRAL AMERICA IN THE REPUBLIC OF COSTA RICA

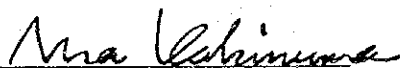
The Japanese Technical Guidance Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") headed by Mr. Usa Kakinuma, Managing Director, Mining & Industrial Development Cooperation Department, JICA, visited the Republic of Costa Rica from April 11 to April 20, 1994 for the purpose of reviewing the progress situation of fiscal 1993 and working out the plan for the period from April, 1994 to March, 1995 for further promotion of the Project on the Technical Instructor and Personnel Training Center for Industrial Development of Central America in the Republic of Costa Rica (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in the Republic of Costa Rica, the Team exchanged views and had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of the Republic of Costa Rica over the matters for successful implementation of the Project.

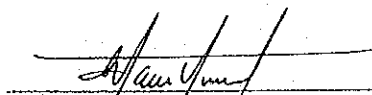
As a result of the discussions, both parties agreed to recommend to their respective Governments matters referred to in the document attached hereto.

Done in duplicate in English and Spanish, each text is equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

San Jose, April 19, 1994



Mr. Usa Kakinuma  
Leader Technical Guidance Team  
Japan International  
Cooperation Agency  
Japan



Mr. Marvin Herrera Araya  
Minister of Public Education  
Republic of Costa Rica

## THE ATTACHED DOCUMENT

### I. GENERAL REVIEW

The Project started on September 1, 1992 as a five-year project, and is now in the implementation stage of the training courses in the fields of;

- (1) Production Management and Quality Management
- (2) Data Processing

in accordance with the Record of Discussions (hereinafter referred to as "R/D"), the Tentative Schedule of Implementation and the Minutes of Meeting agreed upon by both sides on April 13, 1992. Regarding the Project activities in the Japanese Fiscal year 1993, JICA has dispatched eight long-term experts and nine short-term experts and has accepted five counterpart personnel for training in Japan.

In addition, JICA has provided the machinery and equipment necessary for the implementation of the technology transfer in the activities of the Project.

The Technical Instructor and Personnel Training Center for Industrial Development of Central America (hereinafter referred to as "the Center") has ensured the budgetary allocation and the number of Costa Rican counterpart personnel required for the smooth implementation of the Project.

These activities taken by both sides have been regarded as steady progress of the Project.

Thus, based on the common recognition of the present situation of the Project as stated above, both sides confirmed the continuous cooperation between the Japanese and Costa Rican governments for further progress of the Project.

### II. REVIEW OF TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION IN JAPANESE FISCAL YEAR 1993

(from April 1, 1993 to March 31, 1994)

#### II-1 The Japanese side

##### (1) Dispatch of Experts

- (a) Long-term experts: eight experts continued to be dispatched.

M.K.

SH

Chief Advisor: Ryo Takagi, October 29, 1992 to October 28, 1994

Coordinator : Seigo Matsumoto, October 29, 1992 to October 28, 1994

Production Management and Quality Management:

Kazuchika Sato (Industry in General),

October 29, 1992 to October 28, 1994

Yasuto Hayashi (Textile and Apparel Industry),

March 25, 1993 to March 24, 1995

Kosuke Ozaki (Food Processing Industry),

March 25, 1993 to March 24, 1995

Data Processing:

Nobuyuki Ishii (Data Base),

October 29, 1992 to October 28, 1994

Minoru Suzuki (System Analysis and Design),

November 12, 1992 to November 11, 1994

Wataru Matsumura (Operating System),

December 3, 1992 to December 2, 1994

(b) Short-term experts: nine experts were dispatched during the fiscal year 1993

Advanced Graphics, Multimedia Application

Masamichi Sekiguchi, April 2 to April 30, 1993

Inspection instruments (Textile and Apparel Industry)

Yasuo Kii, June 15 to July 10, 1993

Advanced Application Technology for PCs

Tetsuyoshi Mabuchi, July 6 to October 5, 1993

Inspection instruments (Industry in General)

Michiji Ozaki, August 10 to September 8, 1993

Inspection instruments (Textile and Apparel Industry)

Yasuo Kii, September 23 to December 22, 1993

Installation and Adjustment of Machinery and Equipment

Shizuo Watanabe, October 21 to November 2, 1993

Inspection instruments (Food Processing Industry)

Risuke Kiuchi, January 31 to February 22, 1994

Practical Methods of Production Management

Yasuhiko Tsutsumi, February 8 to March 31, 1994

Production Management by Computer

Tadahisa Daigo, March 22 to June 30, 1994

(N.K.)

ATA

(2) Acceptance of Counterpart Personnel as training participants

Five Costa Rican Counterpart Personnel were trained in Japan during the fiscal year 1993.

Personal Computer, Operating System

Nuria Alfaro, November 8, 1993 to March 23, 1994

Productivity and Quality Development

Hazel Rojas, November 25 to December 24, 1993

Productivity and Quality Development

Betty Araya, November 25 to December 24, 1993

Inspection instruments (Textile and Industry in General)

Luis E. Gonzalez, January 10 to March 20, 1994

Inspection instruments (Food Processing Industry)

Roxana Montoya, February 22 to April 29, 1994

(3) Provision of Machinery and Equipment

In accordance with the Attached Document II-2 of the R/D, Machinery and Equipment amounting to 45,000,000 yen were provided to the Center.

II-2 The Costa Rican side

(1) Organization and Staff Allocation of the Center

The Costa Rican side has allocated the staff as shown in Annex 1, 2 and 3.

(2) Allocation of Budget of the Center

Budget allocation of the Center (Tentative Schedule for 1995~1997) is shown in Annex 4.

III. TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION IN JAPANESE FISCAL YEAR 1994

(from April 1, 1994 to March 31, 1995)

According to the present state of the Project, both sides agreed to modify TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION which had been formulated on April 13, 1992 as shown in Annex 5 and both sides will take the following activities:

(U.K.)

HH

III-1 The Japanese side

- (1) Eight long term experts will continue to be dispatched.
- (2) Dispatch of eight short-term experts
  - 1) 1 expert in Practical 5S
  - 2) 1 expert in Q.C 7 Tools
  - 3) 1 expert in Inspection Instruments (Textile and Apparel Industry)
  - 4) 1 expert in Inspection Instruments (Industry in General)
  - 5) 1 expert in Inspection Instruments (Food Processing Industry)
  - 6) 1 expert in Data Processing (UNIX Network)
  - 7) 1 expert in Data Processing (UNIX X-Windows)
  - 8) 1 expert in Data Processing (Graphic Application)
- (3) Acceptance of six counterpart personnel as training participants
  - 1) 1 participant in Productivity Improvement
  - 2) 1 participant in Data Processing
  - 3) 1 participant in Data Processing
  - 4) 1 participant in Data Processing and Productivity Management
  - 5) 1 participant in Inspection Instruments (Industry in General)
  - 6) 1 participant in Inspection Instruments (Food Processing Industry)

III-2 The Costa Rican side

- (1) Organization and Staff Allocation of the Center

The organization chart and staff allocation of the Center are as shown in Annex 1, 2 and 3.
- (2) Allocation of the Budget for the Center

The tentative schedule of the budget allocation of the Center is shown in Annex 4.
- (3) Submission of Application Forms
  - (a) A-1 Form for dispatch of following short-term experts to reach Japan by the end of April, 1994.
    - 1) 1 expert in Practical 5S
    - 2) 1 expert in Q.C 7 Tools
    - 3) 1 expert in Inspection Instruments (Textile and Apparel Industry)
    - 4) 1 expert in Inspection Instruments (Industry in General)

M.K.

AA

- 5) 1 expert in Inspection Instruments (Food Processing Industry)
- 6) 1 expert in Data Processing (UNIX Network)
- 7) 1 expert in Data Processing (UNIX X-Windows)
- 8) 1 expert in Data Processing (Graphic Application)

(b) A-2 and A-3 Forms for acceptance of following six counterpart personnel as training participants to reach Japan by the end of April, 1994.

- 1) 1 participant in Productivity Improvement
- 2) 1 participant in Data Processing
- 3) 1 participant in Data Processing
- 4) 1 participant in Data Processing and Productivity Management
- 5) 1 participant in Inspection Instruments (Industry in General)
- 6) 1 participant in Inspection Instruments (Food Processing Industry)

(c) A-4 Form for provision of machinery and equipment to reach Japan by the end of April, 1994. (Annex 6).

#### IV. TECHNICAL COOPERATION PROGRAM

##### IV-1. Review of Japanese Fiscal Year 1993

##### (1) Production Management and Quality Management

##### 1) Total Quality Control (TQC) Course

The expert has successfully conducted text preparation through transfer of technology to Costa Rican counterparts. Upon completion of the teaching material, the counterparts, in the presence of the expert, held 2-day TQC courses for top management in January and February, 1994. Total number of participants in those courses was 52. The questionnaire filled out by participants endorsed that all of them gave high evaluation to the course. Also TQC course for middle managers collected 60 participants. The course was also highly evaluated by participants. Through experience in conducting those courses, the experts are confident that Costa Rican counterparts have been well equipped with ability to conduct the course without expert's assistance.

*(Handwritten initials)*

*(Handwritten initials)*

2) Cost Reduction in Production Process

During September 1993 to March 1994, the expert transferred technology to counterparts on how standardization and effective maintenance can be accomplished at the pilot company, while giving a lecture on theory of Cost Reduction from time to time at the Center. The expert acknowledges that counterparts have steadily acquired the skill which is an essential part of the course to be held in August, 1994.

3) Supervisory Training Course

The expert and counterparts devoted themselves to understand thoroughly what sort of training is most needed in terms of productivity improvement at COMTEX S.A., which has been chosen as a pilot plant. The expert and counterparts have identified the details of training needs, through interviews and meeting with company staff. The expert believes that counterparts, through their seven months' experience in shop floor, have made a significant progress in understanding how human factor plays an important role in productivity management.

(2) Data Processing

Transfer of technology and development of teaching materials have been carried out as scheduled in the work plan for 1993. Counterparts, with assistance of experts, held the course for junior programmer, which includes "multimedia" for the duration of 5 days with 10 participants, "Computer Mechanism" for 5 days with 18 participants, and "LAN & N/W Technology" for 10 days with 40 participants.

Every course was arranged so that each student can exclusively use a terminal equipment for smooth implementation of the course.

The result of the questionnaire filled out by participants showed that all of them highly evaluated the course contents as well as computer facilities.

The experts felt that the counterparts are now well equipped with ability to conduct the above course by themselves.

(3) Demonstration Course

The course for CEFOP orientation and demonstration were occasionally held, prior to commencement of regular course. Those courses were conducted by Japanese experts and Costa Rican counterparts, and they significantly contributed to the Center in raising Costa Rican interest in the Center's activities.

U.K.

AA

The following courses were held:

COURSE TITLE	DATE	NUMBER OF PARTICIPANTS
On Japanese way of Business Management	2 Sept.	130
Application of Japanese Style Management to Costa Rica	20 Oct.	64
On Future of Data Processing	3 Nov.	51
Multimedia	23, 24, 25 Nov.	6
	29, 30 Nov. 1 Dec.	9
	2, 3 Dec.	10
Total Quality Control	6, 7 Dec.	15

(4) Other Activities.

Nine short term experts dispatched during F.Y. 1993 have carried out their mission to transfer technology to counterparts in each specific fields.

Some of them held open seminars and made visit to companies to give advice on how to improve productivity.

(5) Technology Transfer in Laboratories

- 1) Demand analysis in application of inspection instruments was completed.
- 2) Regulation and procedure to perform quality inspection was prepared.
- 3) The necessary documentation was prepared to obtain the work authorization for the Food Laboratories from the Ministry of Economy, Industry and Commerce (Laboratory Accreditation)

(6) Visits to other Countries

- 1) One expert, with his counterpart, visited Managua, Nicaragua to deliver the lecture on Japanese Management, upon request of the Costa Rican Government. It contributed to the

(U. E.)

J.H.



Center in studying a training need in that country in the light of future mission of the Center.

- 2) One expert visited El Salvador and the other Guatemala to investigate their technology level in specific industry.

(7) Opening Ceremony

The Opening Ceremony of CEFOF took place on April 16, 1993 in the presence of Mr. Rafael A. Calderon, President of Costa Rica, Mr. Kensuke Yanagiya, President of JICA and other distinguished guests, at the newly opened CEFOF building.

The Opening Ceremony was concluded successfully with the attendance of approximately 150 participants from Government and various business circles in Costa Rica.

IV-2. Technical Cooperation Program for Japanese Fiscal Year 1994

The Team and the Costa Rican side have jointly formulated the TECHNICAL COOPERATION PROGRAM for the period as given in Annex 7-1, and 7-2 according to the present state of the progress and other conditions of the Project.

Training Courses to be held are as follows.

(1) Production Management and Quality Management

- 1) Total Quality Control (TQC) Course
- 2) Special Course
  - a. Productivity Development
  - b. Quality Control (QC) Techniques
  - c. Quality Control Circle (QCC)
  - d. 5S
  - e. Suggestion Scheme
- 3) Supervisory Training Course
- 4) Course on Cost Reduction in Production Process

(2) Data Processing

- 1) Junior Programmer Training Course
- 2) Senior Programmer Training Course
- 3) Short Term Application Software Course

M.K.

M.H.

## V. OTHER MATTERS DISCUSSED

### V-1. Allocation of Counterpart Personnel and Staff

The Team requested the Costa Rican side to expedite the allocation of counterpart personnel and staff since it is behind the schedule in the minutes of the R/D.

The Costa Rican side explained that they will make every effort to fill the vacancy.

### V-2. Allocation of Budget

The Team pointed out that the procurement of official vehicles, which were scheduled to be purchased with 1993 budget, had not yet been completed, and requested the Costa Rican side to do so as soon as possible.

The Costa Rican side promised to take necessary actions so that it could purchase vehicles as soon as possible.

### V-3. Provision of Machinery and Equipment

The Costa Rican side requested the Team to provide machinery and equipment related to technology transfer as listed in Annex 6.

The Team explained to the Costa Rican side that it was difficult for the Japanese side to accept all the requests because of the Japanese budgetary constraints. The Team requested the Costa Rican side to give priority in the list of the machinery and equipment as shown in the list. The Costa Rican side hoped the Japanese side would give full considerations to their request.

V-4. With respect to the question regarding the administration of the Project, raised by the Japanese side, the Costa Rican side stated that there will not be any change in its government's support to the Project even if the current Minister of Public Education be replaced by other in future, the newly appointed Minister of Public Education being responsible for the implementation of the Project.

### V-5. Dispatch of Short-term Experts

The Costa Rican side requested that short term experts in the field of Inspection Instruments (Food and Industry in General) be dispatched as soon as possible.

The Team replied that the timing and the duration will be informed, paying due consideration to the Costa Rican requirement.

M.K.

AA

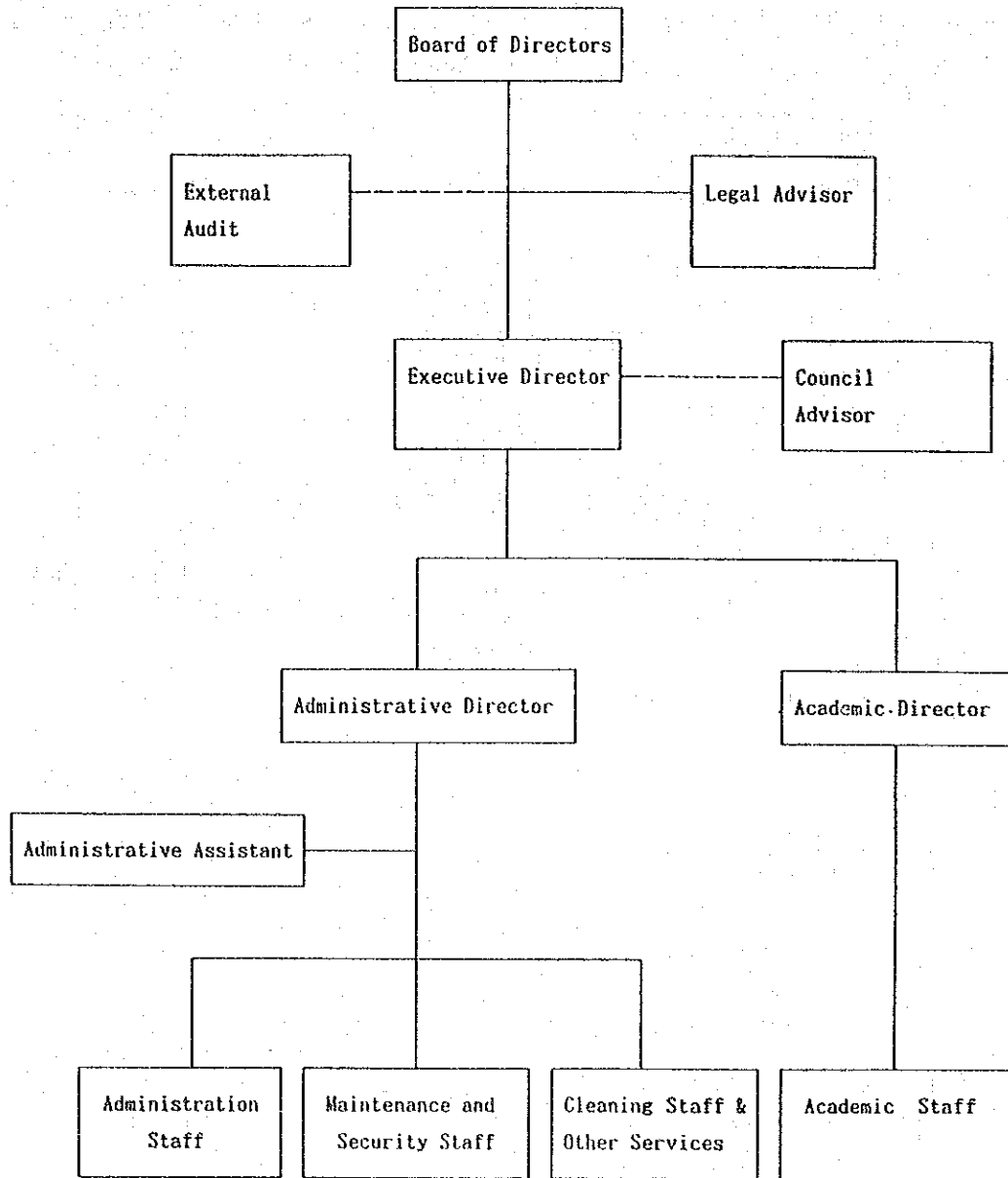
## VI. JOINT COMMITTEE

The Joint Committee Meeting was held on the morning of April 18, 1994 to review the progress of the Project and examine the Annual Plan for the year 1994. Both sides agreed upon the matters presented and discussed. The attendants of the Meeting and the Meeting Program are shown in Annex 8-1 and 8-2 respectively.

U.S.

U.S.

ORGANIZATION CHART OF THE CENTER



*U.B.*

*JH*

## Annex 2

## TENTATIVE SCHEDULE OF STAFF ALLOCATION

Year	1992	1993	1994	1995	1996	1997	Total
The center Staff							
Executive Director	1	1	1	1	1	1	1
Administrative Staff	5	10	10	10	10	10	10
Maintenance Staff	0	1	3	3	3	3	3
Cleaning Staff and Other Services	6	16	17	17	17	17	17
Teaching Staff	9	29	33	33	33	33	33
Total	21	57	64	64	64	64	64

\*Note: Figures in 1992 and 1993 are based on the actual data.

(M.B)

dt

## LIST OF THE CENTER STAFF

as of April 15, 1994

Center staff	No.	Position	No.	Name	No.	Date of employment
Director	1	Executive Director	1	Julio Sanchez	1	1993. 8. 3.
Administrative Staff	10	Administrative Director	1	Gerardo Soto	1	1992. 9. 16.
		Assistant Administrative Manager	1	Walter Conejo	1	" 9. 1.
		Financial Supervisor	1	Anabelle Soto	1	1993. 1. 4.
		Procurement Supervisor	1	Marco T. Madrigal	1	" 1. 4.
		General Affairs Supervisor	1	Luis Diego Arroyo	1	" 1. 15.
		Personnel Supervisor	1	Luigi Longhi	1	" 4. 12.
		Register Controller	1	Gregorio Arce Gomez	1	" 4. 19.
		Accounting Assistant	1	Jenny Cruz Mora	1	" 7. 15.
		Secretary	2	Elizabeth Murillo	2	1992. 9. 16.
				Zianne Ramirez Arias		1994. 3. 1.
Maintenance Staff	3	Maintenance Staff	2	Walter Vega Araya	2	1993. 5. 15.
		Computer Maintenance Staff	1	Elias Gamboa Lopez	0	1994. 1. 4.
Cleaning Staff and other Services	17	Miscellaneous Duties	6	Luis E. Hernandez	6	1992. 10. 15.
				Douglas Bolanoz		1993. 2. 1.
				Alvaro E. Loria		" 4. 1.
				Jorge L. Vargas		" 4. 1.
				Jose A. Rodriguez		" 5. 1.
				Edgar Torres Montoya		1994. 2. 1.
		Reception	1	Mauren Usana	1	1993. 2. 1.
		Security Guard	6	Jose F. Lanuza	6	" 4. 1.
				Raúlro Alfaro		" 4. 13.
				Manuel A. Ocamoo		" 5. 15.
				Luis Castro Vargas		1994. 1. 17.
				Manuel Fallas Gamboa		" 4. 15.
				Erick Murillo Cabrera		" 4. 15.
		Driver	2	Luis Rafael Sanchez	2	1993. 4. 19.
				Olger Torres Guzman		1994. 4. 1.
		Gardener	2	Juan A. Araya	2	1993. 4. 1.
				Hugo Fuentes Herrera		1994. 2. 1.
Academic Staff	33	Academic Director	1	Olean Munoz	1	1992. 9. 16.
		Instructor	15	Gilbert Ramirez	14	" 9. 1.
		(Production and Quality Management Training)	(9)	Rafael A. Quesada	(9)	" 9. 1.
				Luis E. Gonzales		" 9. 16.
				Betty Araya		1993. 1. 4.
				Ricardo Usana		" 1. 4.
				Hazel Rojas		" 1. 18.
				Glen E. Montes		" 2. 1.
				Roxana M. Montoya		" 8. 3.
				Oscar Romero		1994. 2. 1.
		(Data Processing Training)	(6)	Jorge Ulate	(5)	1992. 8. 16.
				Mauricio Garcia		" 9. 1.
				Nuria Alfaro		1993. 1. 18.
				Marcelo Meza		" 1. 25.
				Arlette Jimenez		" 3. 22.
		Assistants for practical exercise	6	Maricel Rojas	5	1993. 7. 1.
				Rosella Moya		" "
				William Ortiz		" 11. 1.
				Rosaneeth Alfaro Brenes		1994. 2. 1.
				Harvin Herrera		" 4. 1.
		Training Assistant	3	Juan Carlos Alvarez	3	1993. 1. 4.
				Gerardo Gonzalez		" 1. 4.
				Carlos Herrera		" 3. 16.
		Secretary	2	Ileana Carlin	2	" 2. 1.
				Mauren Alfaro		1994. 4. 4.
		Office Worker	2	Maria del Car. Alpizar	2	1993. 12. 1.
				Marjorie Arico		1994. 2. 1.
		PR	1	Mirllana Hidalgo	1	" 1. 15.
		Librarian	1	Ana Yenssy Arguedas	1	1993. 6. 21.
		Devel. of Educational Materials	1	Ronald Solano Garcia	1	1994. 3. 1.
		Research and Planning	1	Jorge Beraudez	1	" 1. 15.
	64		64		61	

## TENTATIVE SCHEDULE OF BUDGET ALLOCATION

( Unit: Million Colons )

Item of Budget	Year						
	1992	1993	1994	1995	1996	1997	Total
Staff Charges	10.0	33.1	78.5	69.0	74.0	81.0	345.6
Building Maintenance	0.6	11.0	4.0	4.4	4.9	5.3	30.2
Equipment Maintenance	2.7	5.3	17.2	4.4	4.9	5.3	39.8
Electricity, Telephone, Gas, Travel allowance & others	3.3	23.2	19.0	19.2	23.2	26.4	114.3
Total Annual Budget	16.6	72.6	118.7	97.0	107.0	118.0	529.9

Annex 5 TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION FOR 1992~ 1997

— WORK PLAN  
 - - - ACCOMPLISHMENT

Items	Year					
	1992	1993	1994	1995	1996	1997
I. Japanese side						
1. Long term experts						
1) Chief advisor	←-----→					
2) Coordinator	←-----→					
3) Production Management and Quality Management	←-----→					
a) Industry in General	←-----→					
b) Food Processing Industry	←-----→					
c) Textile and Apparel Industry	←-----→					
4) Data Processing	←-----→					
a) Data Base	←-----→					
b) Systems Analysis and Design	←-----→					
c) Operating System	←-----→					
2. Short term experts	←-----→					
3. Provision of machinery and equipment	←-----→					
4. Training of Costa Rican counterparts in Japan	←-----→					
5. Dispatch of Survey Team	△	△	△	△	△	△
II. Costa Rican side						
1. Establishment of the Center	←-----→					
2. Arrangement of the facilities	←-----→					
3. Provision of counterparts and other Center staffs	←-----→					
4. Training Courses in the Center						
1) Production Management			←-----→			
2) Quality Management			←-----→			
3) Data Processing			←-----→			
5. Training Courses for Other Central American Students				←-----→		
IV. Joint Evaluation about the Project				△		△

Note: This schedule was formulated on condition that the necessary budget will be allocated to the Project by the governments of Japan and Costa Rica, and that the schedule is subject to change within the framework of the R/D (dated April 13, 1992) if necessity arises in the course of the implementation of the Project.

*(Handwritten initials)*

*(Handwritten initials)*



**LIST OF REQUEST FOR THE PROVISION OF  
MACHINERY AND EQUIPMENT**

Request No.	Machinery and Equipment	Quantity	Priority
1	Equipment for Computers	16	A
2	Additional Accessory for Existing Equipment	10	A
3	Other Additional Accessory	5	A
4	Software 1 Oracle/Case 2 Netware 3 Presentation Sw 4 Additional List for J.P.C. Course 5 RS/6000 Soft	2 set 1 1 1 set 1 set	A
5	Additional Accessory for Existing Equipment	2 set	B3
6	Other Additional Accessories		B1
7	Software 1 Aix Network Management 2 Windows/NT	1 1	B2
8	Portable Computer for Demonstration	1 set	A
9	Necessary Equipment for PQD PC Notebooks 486, 150 HD, 8 Mega RAM Simultaneous Translation Equipment with 100 receivers Software JUSE-QCA S/NIMAC (I, II, III) Color Printer (special for transparencies) Character Generator (Including Software)	3 1 1 1 1	A A A B A
10	Analysis Equipment and Supplies Computer Equipment for Laboratories	1 set 2	A A

*(U.K.)*

*JA*

UK

Annex 7-1-1 Technical Cooperation Program: Department of Production Management and Quality Management

Work Plan  
Accomplishment

Fiscal Year Month	1993												1994											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. <u>TOC Course</u>																								
Development of Teaching Material																								
Technology Transfer of Teaching Method																								
Practice in The Factories																								
Courses																								
2. <u>Special Course</u>																								
Development of Teaching Material																								
Technology Transfer of Teaching Method																								
Courses																								
3. <u>Supervisor training Program</u>																								
Survey of Facilities and Selection of Pilot Company																								
Technology transfer to C/P																								
Development of Teaching Material																								
Training of SV by C/P																								
Elaboration of the Manual																								
Courses																								
Review of Training Contents																								

Handwritten signature or initials.

Annex 7-1-2 Technical Cooperation Program: Department of Production Management and Quality Management

Work Plan  
 Accomplishment

Fiscal Year Month	1993												1994											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
4. Course of Cost Reduction in Production Process	<p>Survey of Facilities and Selection of Pilot Company            Technology transfer to C/P            Development of Teaching Material            Courses</p>																							
5. Others	<p>Demonstration Course            Pilot Course            Pilot Course on Textile Inspection Equipment</p>																							
	<p>Sept..2 (130 Persons) →            Dec. 6, 7 (51 Persons) →            Textile →            Dec. 14, 15 →</p>																							
	<p>For Top Management → For Top Mgt. →            For Middle Management → For Middle Mgt. →            →            → Cost Reduction in Production Process →            → Textile</p>																							

(U.S.)

HA

M.K.

Annex 7-2-1 Technical Cooperation Program: Department of Data Processing

Work Plan Accomplishment

Fiscal Year Month	1993			1994								
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
<u>1. Junior Programmer Training Course</u> Syllabus Development Teaching Materials and Technical Transfer Introduction of Data Processing Introduction of Network Personal Computer Basic Programming Programming Courses	=====	=====	=====	=====	=====	=====	=====	=====	=====	=====	=====	=====
<u>2. Senior Programmer Training Course</u> Syllabus Development Teaching Materials and Technical Transfer Overview of Operating System UNIX Applicable Programming D.B. System Graphic Programming Program Development; System Design Courses	=====	=====	=====	=====	=====	=====	=====	=====	=====	=====	=====	=====

HA



Annex 8-1

LIST OF PARTICIPANTS IN THE JOINT COMMITTEE MEETING

I. Chairperson

Virginia Rojas Vice Minister of Public Education

II. Costa Rican Side

1. Ministry of Planning & Economic Policy

Juan Vicente Jimenez Proyecto Analyzer,  
Department of International Cooperation

Ministry of Foreign Affairs  
Melba Porras International Cooperation Division

Ministry of Economy, Industry & Commerce  
Cesar A. Jaramillo Economic Advisor

2. CEFOP

Julio Sanchez Campos, Executive Director  
Olman Munoz Cespedes, Academic Director  
Gerardo Soto, Administrative Director  
Arlette Jimenez Instructor  
Rafael Quesada "  
Luis E. Gonzalez "

III. Japanese Side

1. Technical Guidance Team

Usa Kakinuma Team Leader  
Kazuo Hara Member  
Susumu Kinoshita "  
Kiyoshi Mizumoto "  
Shozo Miyoshi "

2. Expert

Ryo Takagi Chief Advisor  
Seigo Matsumoto Coordinator  
Kazuchika Sato Expert  
Nobuyuki Ishii "

3. Observer

Toyomi Ishii Embassy of Japan  
Yasuto Hayashi Expert  
Kosuke Ozaki "  
Minoru Suzuki "  
Wataru Matsumura "

UK

HA

April 18, 1994

CEFOF Meeting Room

JOINT COMMITTEE MEETING PROGRAM

9:00 Opening of the Meeting

Address of opening and welcome by Vice Minister of Public Education Mrs. Virginia Rojas on behalf of Minister Marvin Herrera Araya

9:15 Address of Leader of the Japanese Technical Guidance Team, Mr. Usa Kakinuma of Japan International Cooperation Agency

9:25 Presentation of the CEFOF's Report by Executive Director', Mr. Julio Sanchez Campos, Administrative Director, Mr. Gerardo Soto, Chief Advisor of Japanese Experts, Mr. Ryo Takagi, and Academic Director, Mr. Olman Munoz

10:30 Coffee Break

10:40 Exchange of views, drawing conclusion and approval of agreement

12:30 Closing of the Meeting









JICA